

ユニバーサルデザインのまちづくりに関するアンケート調査結果

1. 目的

ユニバーサルデザイン推進計画の策定の参考とするため、区民のユニバーサルデザインに対する認知度や区民が求める施策の方向性を把握することを目的とする。

2. 実施概要

項目	内容
タイトル	ユニバーサルデザインのまちづくりに関するアンケート調査
対象	20歳以上の板橋区民 3,000名 <内訳> ・板橋地域（板橋、熊野、仲宿、仲町、富士見）：600名 ・常盤台地域（大谷口、常盤台、桜川）：600名 ・志村地域（清水、志村坂上、中台、前野）：600名 ・赤塚地域（下赤塚、成増、徳丸）：600名 ・高島平地域（蓮根、舟渡、高島平）：600名
対象者の抽出	住民基本台帳から無作為抽出
配布・回収方法	郵送配付・郵送回収
調査期間	平成28年4月1日（金）～4月15日（金）（3月31日発送）
実施主体	板橋区 福祉部 障がい者福祉課 ユニバーサルデザイン推進係
調査票構成	1 フェイスシート 2 ユニバーサルデザインに関する意識 【問1】ユニバーサルデザインの認知度 【問2】ユニバーサルデザインの言葉のイメージ 【問3】ユニバーサルデザインの言葉を知った主なきっかけ 3 ユニバーサルデザインのまちづくりの取組課題 【問4】10年前と現在のまちの環境の評価 【問5】日常生活における不便 【問6】ハード面のユニバーサルデザインの取り組みの優先度 【問7】ソフト面のユニバーサルデザインの取り組みの優先度 【問8】自由記載

3. 回収率

対象		母数	回収数	回収率
全 体		3,000	859	28.6%
地域別	板橋地域（板橋、熊野、仲宿、仲町、富士見）	600	210	35.0%
	常盤台地域（大谷口、常盤台、桜川）	600	153	25.5%
	志村地域（清水、志村坂上、中台、前野）	600	163	27.2%
	赤塚地域（下赤塚、成増、徳丸）	600	164	27.3%
	高島平地域（蓮根、舟渡、高島平）	600	157	26.2%
	不明（「お住まいの地域」の未回答者）	—	12	—

※平成28年3月1日現在の住民基本台帳から抽出。回答数が859の場合標本誤差は最大で±3.41%

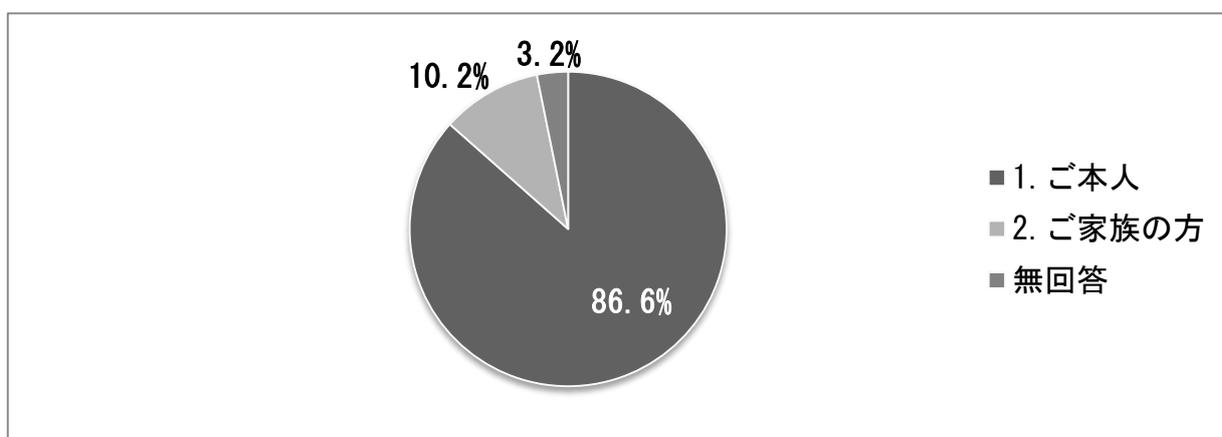
4. 集計結果

1 あなたご自身のことについて、お聞かせください（フェイスシート）

①回答者（n=859／単回答）

○「1. ご本人」が86.6%と多くなっている。

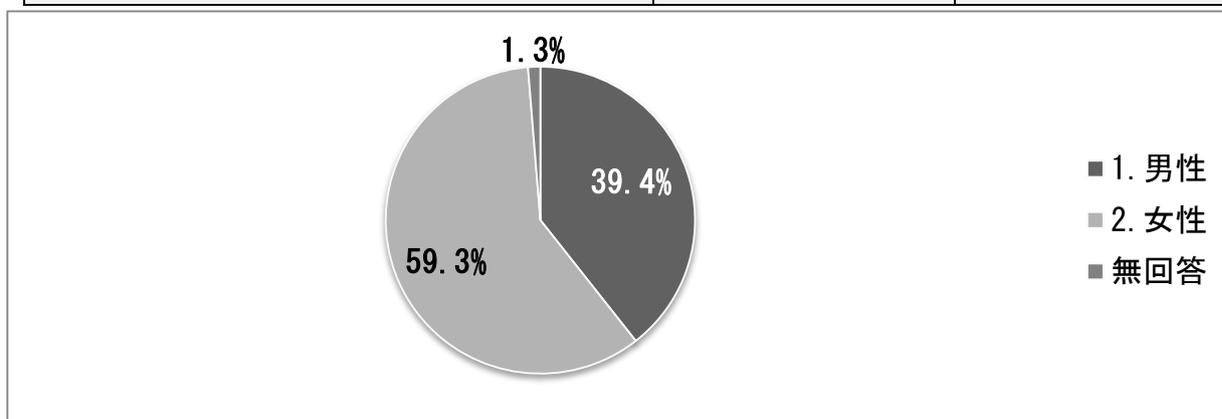
選択肢	人数	割合
1. ご本人（宛名と同じ方）	744	86.6%
2. ご家族の方	88	10.2%
無回答	27	3.2%
計	859	100%



②性別（n=859／単回答）

○「2. 女性」が59.3%と多くなっている。

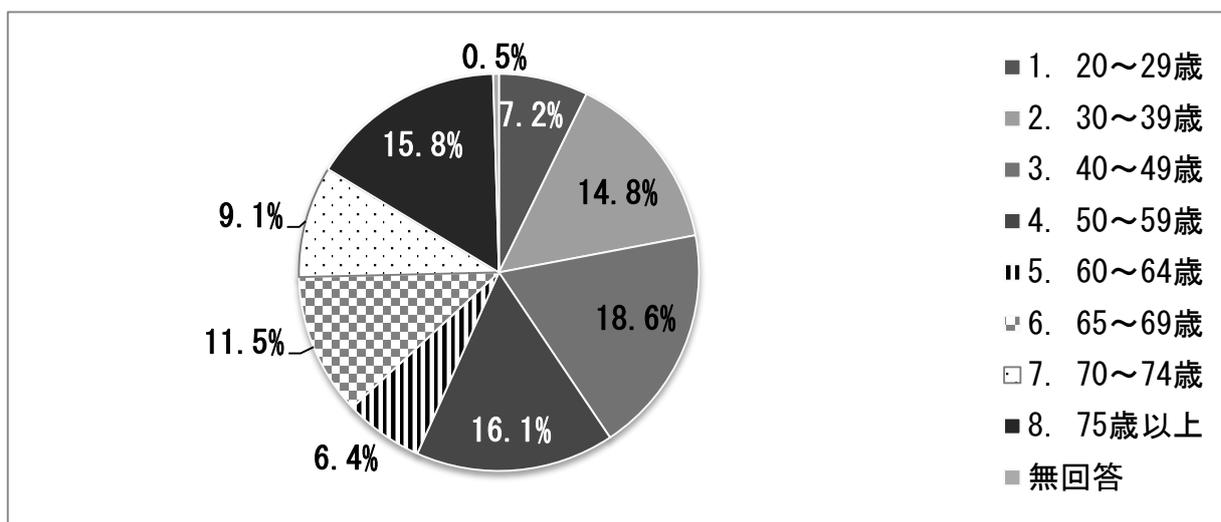
選択肢	人数	割合
1. 男性	339	39.4%
2. 女性	509	59.3%
無回答	11	1.3%
計	859	100%



③年齢 (n=859/単回答)

○「3. 40～49歳」が18.6%と最も多く、次いで、「4. 50～59歳」が16.1%、「8. 75歳以上」が15.8%、「2. 30～39歳」が14.8%となっている。

選択肢	人数	割合
1. 20～29歳	62	7.2%
2. 30～39歳	127	14.8%
3. 40～49歳	160	18.6%
4. 50～59歳	138	16.1%
5. 60～64歳	55	6.4%
6. 65～69歳	99	11.5%
7. 70～74歳	78	9.1%
8. 75歳以上	136	15.8%
無回答	4	0.5%
計	859	100%



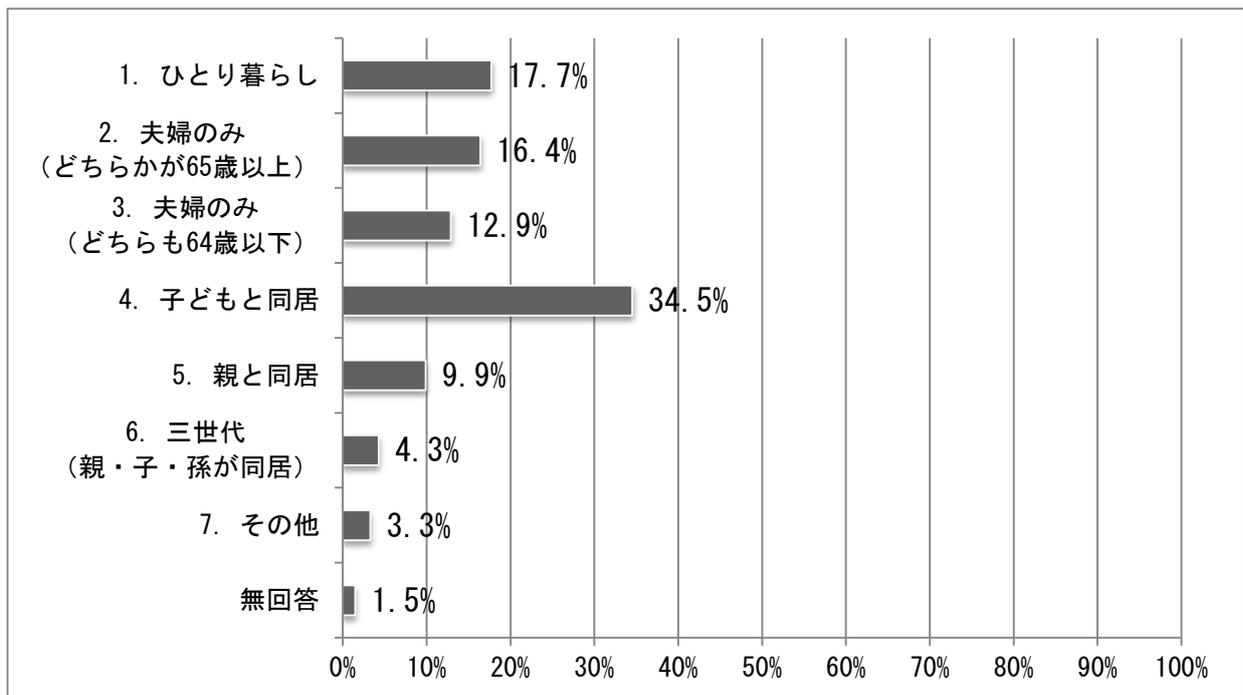
④世帯構成

▶全体 (n=859/複数回答)

○「4. 子どもと同居」が34.5%と最も多く、次いで、「1. ひとり暮らし」が17.7%、「2. 夫婦のみ (どちらかが65歳以上)」が16.4%となっている。

選択肢	人数	割合
1. ひとり暮らし	152	17.7%
2. 夫婦のみ (どちらかが65歳以上)	141	16.4%
3. 夫婦のみ (どちらも64歳以下)	111	12.9%
4. 子どもと同居	296	34.5%
5. 親と同居	85	9.9%
6. 三世帯 (親・子・孫が同居)	37	4.3%
7. その他	28	3.3%
無回答	13	1.5%

※4名が複数回答 (2項目ずつ)



※「4. 子どもと同居」の内訳 (n=296/複数回答)

選択肢	人数	割合
未就学児がいる	81	27.4%
小学生がいる	73	24.7%
中学生がいる	39	13.2%
その他	124	41.9%
無選択	33	11.1%

※51名が複数回答 (48名が2項目ずつ、3名が3項目ずつ)

※「5. 親と同居」の内訳 (n=85/単回答)

選択肢	人数	割合
親が64歳以下	25	29.4%
親が65歳以上	49	57.6%
無選択	11	12.9%
計	85	100%

▶「7. その他」

○その他の回答は、以下のとおりである。

→夫婦と長男/長男と同居/夫婦と孫/夫婦と娘3人/夫婦 (夫が65歳)、娘1人、実母の計4人/夫婦と成人した子供と同居/夫婦と親/夫婦のみ (どちらも65歳以上) (2人)/兄と同居/弟と同居/姉と同居 (2人)/妹と同居 (3人)/姉と妹と同居 (2人)/娘婿宅に同居/老人ホーム/グループホーム/同棲 (3人)/妊娠中/友人と

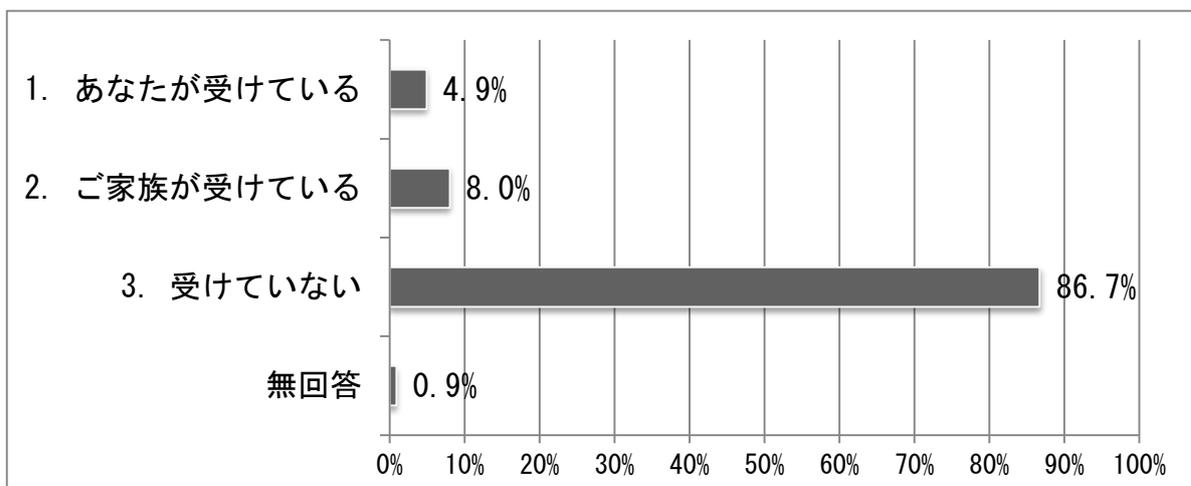
⑤要介護認定の有無

▶全体 (n=859/複数回答)

○「1. あなたが受けている」が4.9%、「2. ご家族が受けている」が8.0%となっている。

選択肢	人数	割合
1. あなたが受けている	42	4.9%
2. ご家族が受けている	69	8.0%
3. 受けていない	745	86.7%
無回答	8	0.9%

※5名が複数回答（2項目ずつ）



※「1. あなたが受けている」の内訳 (n=42/複数回答)

選択肢	人数	割合	選択肢	人数	割合	選択肢	人数	割合
要支援1	10	23.8%	要介護1	5	11.9%	無選択	1	2.4%
要支援2	10	23.8%	要介護2	6	14.3%			
			要介護3	6	14.3%			
			要介護4	2	4.8%			
			要介護5	4	9.5%			

※2名が複数回答（2項目ずつ）

※「ご家族が受けている」の内訳 (n=69/複数回答)

選択肢	人数	割合	選択肢	人数	割合	選択肢	人数	割合
要支援1	4	5.8%	要介護1	6	8.7%	無選択	6	8.7%
要支援2	6	8.7%	要介護2	18	26.1%			
			要介護3	12	17.4%			
			要介護4	7	10.1%			
			要介護5	13	18.8%			

※3名が複数回答（2項目ずつ）

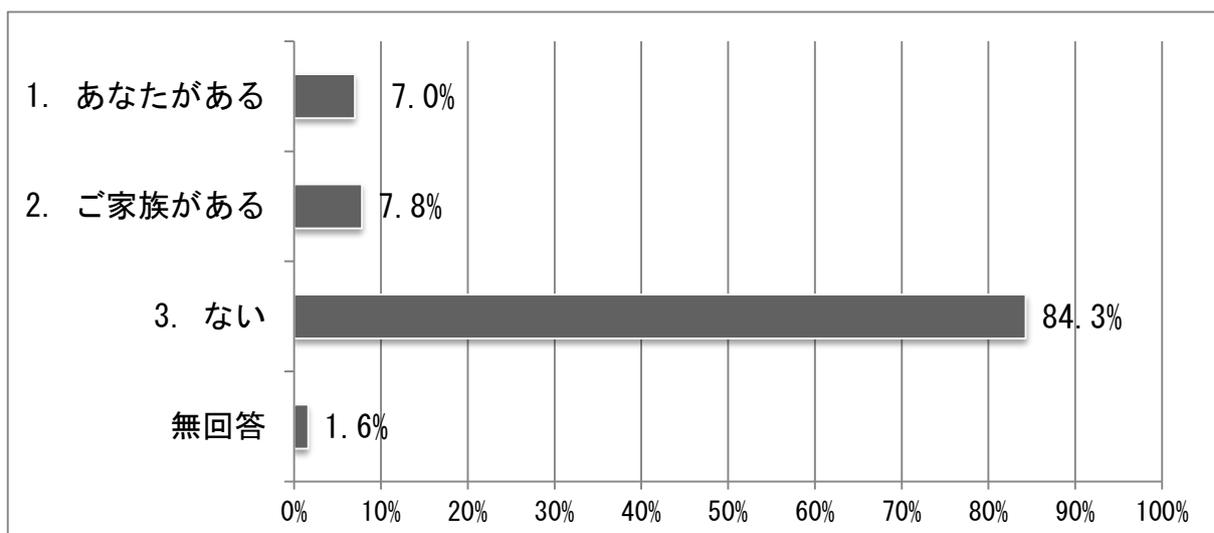
⑥障がいの有無

▶全体 (n=859/複数回答)

○「1. あなたがある」が7.0%、「2. ご家族がある」が7.8%となっている。

選択肢	人数	割合
1. あなたがある	60	7.0%
2. ご家族がある	67	7.8%
3. ない	724	84.3%
無回答	14	1.6%

※6名が複数回答 (2項目ずつ)



※「1. あなたがある」の内訳 (n=60/複数回答)

選択肢	人数	割合
身体障害者手帳	43	71.7%
愛の手帳	4	6.7%
精神障害者保健福祉手帳	5	8.3%
無選択	10	16.7%

※2名が複数回答 (2項目ずつ)

※「2. ご家族がある」の内訳 (n=67/複数回答)

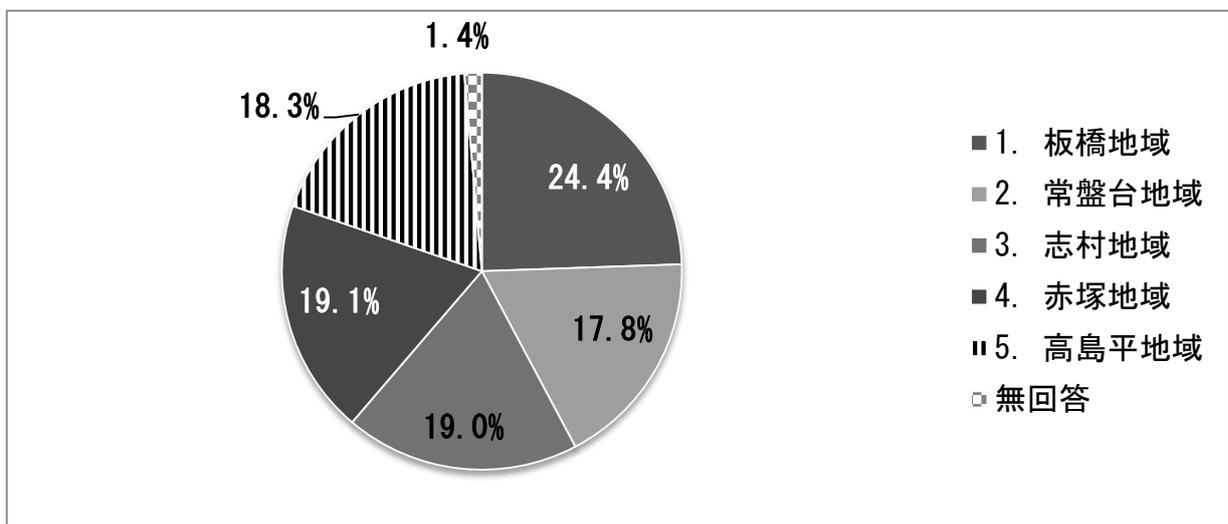
選択肢	人数	割合
身体障害者手帳	38	56.7%
愛の手帳	11	16.4%
精神障害者保健福祉手帳	4	6.0%
無選択	16	23.9%

※2名が複数回答 (2項目ずつ)

⑦お住いの地域 (n=859/単回答)

○「1. 板橋地域」が27.6%と最も多く、次いで、「4. 赤塚地域」が21.6%、「3. 志村地域」が21.5%、「5. 高島平地域」が20.7%、となっている。

選択肢	人数	割合
1. 板橋地域	210	24.4%
2. 常盤台地域	153	17.8%
3. 志村地域	163	19.0%
4. 赤塚地域	164	19.1%
5. 高島平地域	157	18.3%
無回答	12	1.4%
計	859	100%

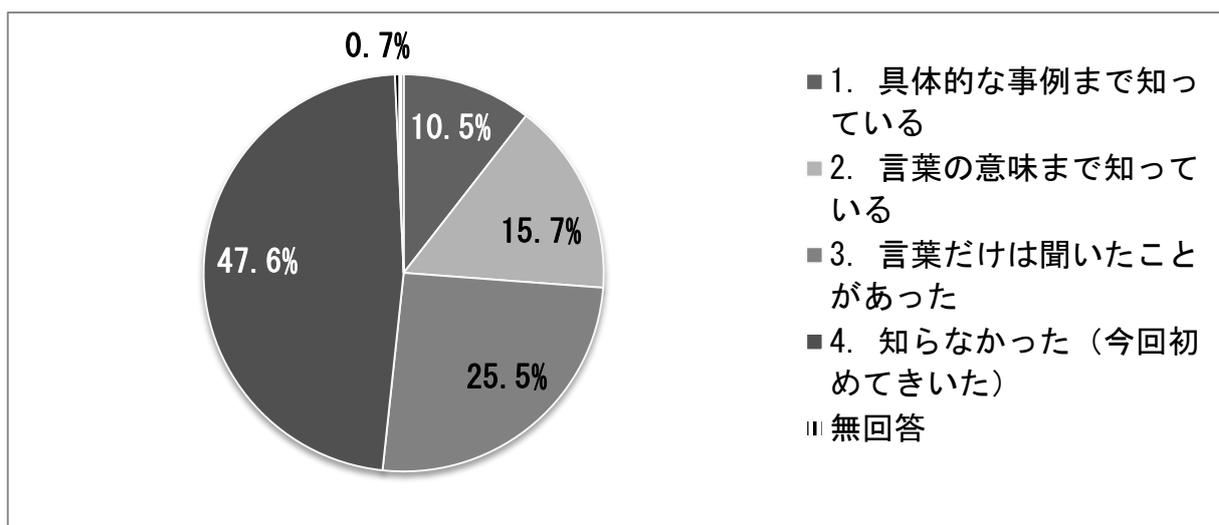


2 「ユニバーサルデザイン」に対する意識について、お聞かせください

問1 「ユニバーサルデザイン」について、どの程度知っていましたか。(1つに○)

○「4. 知らなかった（今回初めてきいた）」が 47.6%と最も多く、次いで、「3. 言葉だけは聞いたことがあった」が 25.5%、となっており、あわせて約 73%の回答者が「ユニバーサルデザイン」の意味について知らない状況にある。

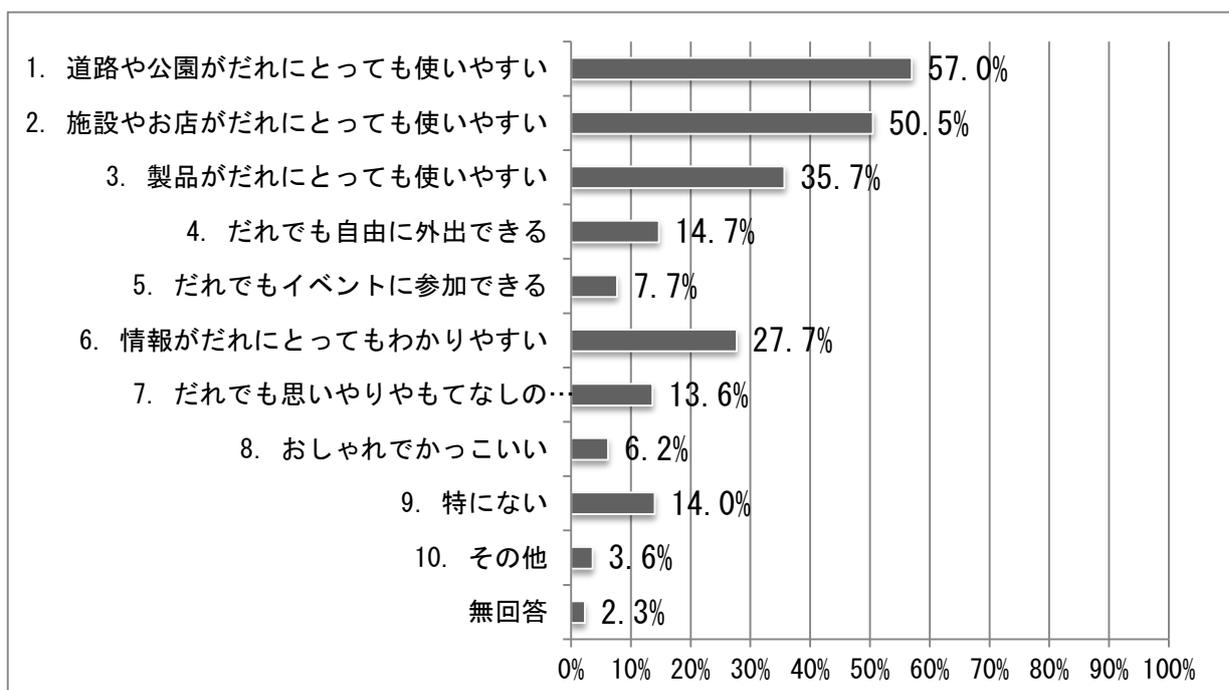
選択肢	人数	割合
1. 具体的な事例まで知っている	90	10.5%
2. 言葉の意味まで知っている	135	15.7%
3. 言葉だけは聞いたことがあった	219	25.5%
4. 知らなかった（今回初めてきいた）	409	47.6%
無回答	6	0.7%
計	859	100%



問2 「ユニバーサルデザイン」という言葉から、あなたがイメージできることで、近いものはどれですか。（〇は3つまで）

- 「1. 道路や公園がだれにとっても使いやすい」が57.0%と最も多く、次いで、「2. 施設やお店がだれにとっても使いやすい」が50.5%、となっており、ユニバーサルデザインという言葉から、道路・公園・施設・店舗といったハード面の環境をイメージする回答者が多い傾向にある。
- 「4. だれでも自由に外出できる」が14.7%、「7. だれでも思いやりやもてなしの心を持っている」が13.6%、「5. だれでもイベントに参加できる」が7.7%となっており、社会参加の環境や人的対応といったソフト面の環境をイメージする回答者が少ない傾向にある。

選択肢	人数	割合
1. 道路や公園がだれにとっても使いやすい	490	57.0%
2. 施設やお店がだれにとっても使いやすい	434	50.5%
3. 製品がだれにとっても使いやすい	307	35.7%
4. だれでも自由に外出できる	126	14.7%
5. だれでもイベントに参加できる	66	7.7%
6. 情報がだれにとってもわかりやすい	238	27.7%
7. だれでも思いやりやもてなしの心を持っている	117	13.6%
8. おしゃれでかっこいい	53	6.2%
9. 特にない	120	14.0%
10. その他	31	3.6%
無回答	20	2.3%



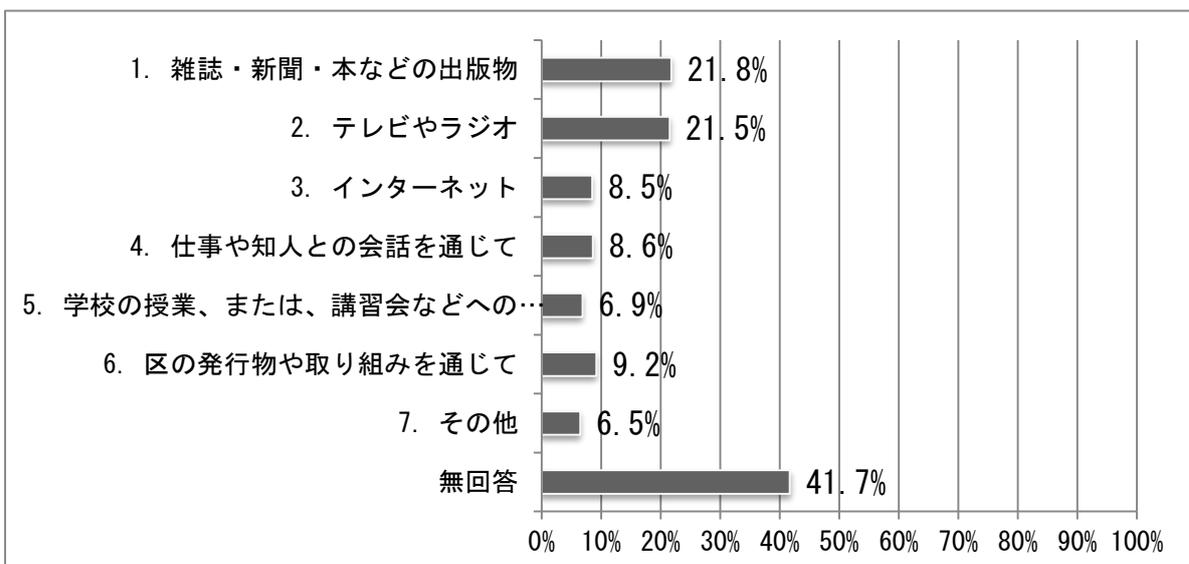
▶ 「10. その他」の概要

- 犯罪が無く、人にやさしい住みやすい環境。
- 全ての人にとって使いやすい、暮らしやすい。
- ユニバーサルデザインという表現が抽象的でわかりにくい
- 横文字の多用を避けて、日本語で表現してほしい

問3 「ユニバーサルデザイン」という言葉を聞いたことがある方は、「ユニバーサルデザイン」を知った主なきっかけはどれですか。(〇は2つまで)

- 「無回答」が41.7%と最も多くなっているが、これは【問1】で、ユニバーサルデザインを「4. 知らなかった（今回初めて聞いた）」回答者が47.6%であったことに関連していると考えられる。
- 無回答を除くと「1. 雑誌・新聞・本などの出版物」が21.8%と最も多く、次いで、「2. テレビやラジオ」が21.5%、となっている。

選択肢	人数	割合
1. 雑誌・新聞・本などの出版物	187	21.8%
2. テレビやラジオ	185	21.5%
3. インターネット	73	8.5%
4. 仕事や知人との会話を通じて	74	8.6%
5. 学校の授業、または、講習会などへの参加を通じて	59	6.9%
6. 区の発行物や取り組みを通じて	79	9.2%
7. その他	56	6.5%
無回答	358	41.7%



▶ 「7. その他」の概要

- ちいバスの活動以外にも具体的に何をやっているのかもっとしらせてほしい。目のつきやすいところに掲示するなど。
- ユニバーサルデザインに配慮した製品にあったロゴや説明文を通じて知った
- 企業の展示会や学校行事で知った
- 仕事で必要なため知った
- 子どもがユニバーサルデザインの学習をしていたので知った。
- 自分や家族が障がい者であるため知った
- このアンケート調査ではじめて知った

■「ユニバーサルデザイン」のことで「聞いたことがあること・知っていること」があれば、何でも結構ですので、ぜひ教えてください。

分類	聞いたことがあること・知っていること
UDの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの7原則。 ○だれでも利用可能なデザイン。みんなのためのデザイン ○すべての人が自由、平等に社会生活をするための施策、計画。 ○障がいの有無、年齢や性別、国籍等に関わりなくだれもが等しく使いやすい、安全でより良い都市、施設、道具を実現しようとする考え。 ○現在より「最大限可能な限り」使いやすくなる利用者を増やすこと。 ○最初からできるだけ多くの人が利用可能のようにデザインすること。ユニバーサルデザインの概念はノーマライゼーションの理念に近づくための大きな前進と考えられている。 ○「多様性」の究極形がユニバーサルデザインではないでしょうか。 ○バリアフリーのこと。 ○バリアフリーは官製、ユニバーサルデザインは民間製。ユニバーサルフリーとは障がい者、高齢者などには関係なく、誰にでも優しい。 ○バリアフリーは障がい者や高齢者が対象でユニバーサルデザインはすべての人が対象 ○①誰でも公平に利用できる。②使用上の柔軟性がある。③直感的に利用できる。④利用上、簡単に理解できる。と3つの原則がある。バリアフリーとは異なる思想。 ○しやすさ（アクセシビリティ）視点で物と交通機関、建物等評価方法が異なる事。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者など利用者の使い勝手に配慮する施設設計に取り入れる考え方 ○ベビーカーや車椅子が移動しやすいように、段差の解消や、エレベーター・エスカレーター・スロープ、スライドドアなどを設置すること ○階段の手すり・滑り止めがある ○視覚障がい者用の点字ブロック ○ユニバーサルデザインマンションやバリアフリー住宅 ○広いスペース、オストメイト設備、手すり、低い洗面台等があり、だれでも使えるトイレ
設備器具	<ul style="list-style-type: none"> ○取り出し口などが下の方にある自動販売機 ○筆談ボード、大活字本、デジ書、録音図書 ○力がなくても使えるドアノブのデザイン ○ドアノブ等、非力であったり片手で会ったりしても使いやすい。
製品	<ul style="list-style-type: none"> ○片手でも使える、力が入りにくい人、右利き・左利き・年齢・性別に関係なく、だれでも使いやすいデザインされた商品 ○シャンプーとリンスのボトルの区別をするための点字やフタの凸凹 ○針なしステープラー、力のいらぬホッチキス、利き手に限らず使えるハサミ等の文房具 ○缶の点字表示 ○パソコンのキーやテンキーのホームポジションにある小さな突起 ○指をはさんで使えるスプーンやフォーク、右利きでも左利きでも注ぎやすい急須などの食器 ○家電製品のスイッチ ○服なら着やすい服
情報	<ul style="list-style-type: none"> ○地図記号、トイレ表示などのピクトグラム ○色覚障がいがある方でも見分けやすい色使いを使うこと ○読みやすいフォント、文字の色、大きさにすること ○視覚障がいがある方向けの冊子に切り欠き、音声案内 ○テレビの字幕、手話の挿入や映像の字幕やテロップ ○耳の不自由な人でもわかる電光掲示板
公共交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ○低床バス、ノンステップバスや路線バス車内の取手オレンジ色指定 ○電車のフリースペースや駅のホームドア
具体の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○徳丸小学校の授業は、障がいの有無に限らず分かりやすい ○羽田空港にユニバーサルデザインに対応したレストルームができた。 ○学校でUDの授業づくり、教室の環境整備、人間関係づくり等研修しました。

■「ユニバーサルデザイン」のことで「知りたいこと」があれば、何でも結構ですので、ぜひ教えてください。

分類		知りたいこと
内容	意味	○ユニバーサルデザインの背景や定義・基準 ○横文字・カタカナではなく日本語でわかりやすい表現で伝えて欲しい ○ユニバーサルデザインとバリアフリーとの違い
	効果	○ユニバーサルデザインのメリット・デメリットや費用対効果、利用者の満足度
事例	様々な事例	○イメージができないので、具体的な事例を知りたい（人・企業・大学・活動・施設・場所・地域・製品・マークなど）
	区内事例	○区での取り組み事例があれば教えてほしい ○区内でユニバーサルデザインに準拠のものがある地域や施設等の一覧情報 ○現在、完了・完成している取組みについて具体例
	身近なわかりやすい事例	○普段何気なく使用しているものなど、自分の周りにどれほどユニバーサルデザインのものがあるのか ○根本的なことから誰でも分かりやすいことから知りたい
	自分にできることの事例	○行政、地域団体、区民の皆さま、外国の方ができる具体的なこと ○区民が協力できるならばどのような形でできるか ○一般人が各自でユニバーサルデザインに配慮した行動をできる情報の公開
	障がい者への配慮事例	○障がい者対応の具体例
	外国の事例	○北欧など福祉先進国など、外国でのユニバーサルデザインの取り組み事例
区民意識	認知度	○日本のユニバーサルデザインの普及率について外国と比較する
	ニーズ	○工作上、パッケージ（食品）の使いやすさ、文学の読みやすさ等、具体的に何に困っているか知りたい。
	外国人	○お店や施設はもちろん、同じ地域に外国の方が住んでいらっしゃるようですが、板橋区は住みやすいのでしょうか。
情報	広報	○新聞や「広報いたばし」等でこまめに区民に知らせて欲しい。 ○区民祭などで紹介して欲しい
	店舗・製品	○障がい者にとって使いやすい道具がどこで売っているか ○ユニバーサルデザインの日用品を多く取りそろえたショップ
	高齢者向け	○年寄りが皆と楽しく安く一日過ごせる場所、働ける仕事場 ○医療、生活費などの不安を相談したい
	学び	○講習会等ございましたら、参加したい気持ちです ○もっともっと交流の場があれば、みんな幸せを感じられる。情報が欲しい
	活動支援	○自宅のバリアフリー化をお願いできる民間事業者の情報 ○店舗等のユニバーサルデザインを取り入れた改装等に補助制度はあるか
施策	進捗状況	○区が具体的に今までに行ったこと、過去に取り組んだ実績 ○区民からの要望と具体的に実施したこと ○どの程度改善されたのか比較できる資料。詳細のわかる MAP があるとよい
	今後の施策	○行政の立場で将来どのように取り組むことを考えているのか ○東京オリンピックに向けて、道路や施設の表示はどの程度多言語化するのか ○今後、道路や公共施設がどれだけ使いやすくなるのか。 ○心のバリアフリーをどの程度大人に浸透させるのか ○保育等、女性が働くための手助けは、どれくらい、いつまでに行うのか ○高齢者、障がい者等に対する今後のサービスは ○ユニバーサルデザインに関する情報発信をどれくらいするのか ○自然災害への対応
	推進体制	○障がい者福祉課だけでなく、もっと区の課題として取り組んでほしい ○民間主導型を具体的にどのようなところから進めているか ○区民意見はどのように出せばいいのか
	予算	○どのくらいユニバーサルデザインに予算をかけることができるか。 ○費用に対する効果をどのように検証しているのか。
個別質問	○区役所や地域センターに行かなくても、自宅から各種証明書を依頼できるようになるか ○常盤台駅、中板橋駅はエレベーターが1つしかなく、ベビーカーや車椅子が非常に使いにくい。改善予定は？ ○親・子ともに安心して暮らせるようなグループホームを作って欲しい	

3 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に向けて、ご意見をお聞かせください

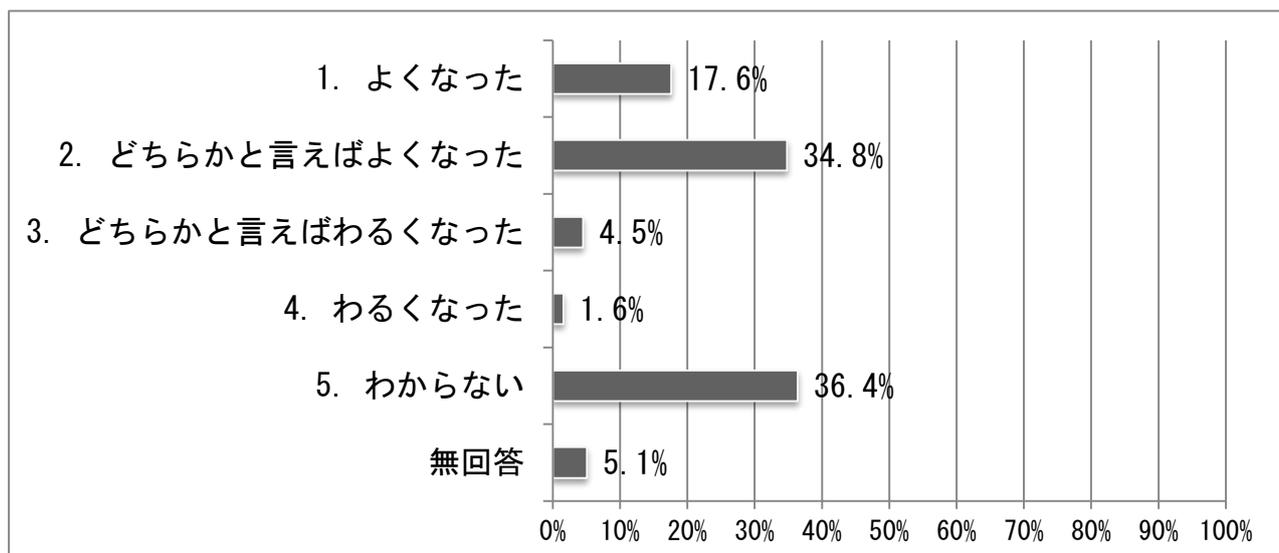
(1) あなたとご家族が、普段の生活や外出などで感じる不便さについて

問4 区では、だれもがスムーズに移動したり、快適に施設を利用できるように、まちの整備を進めております。10年前とくらべて、現在のまちについて、どのように感じますか。(1つに〇)

○「5. わからない」が36.4%と最も多く、次いで、「2. どちらかと言えばよくなった」が34.8%、となっている。

○「1. よくなった」「2. どちらかと言えばよくなった」をあわせると52.4%となっており、約半数の回答者が、現在のまちの環境を前向きにとらえている。

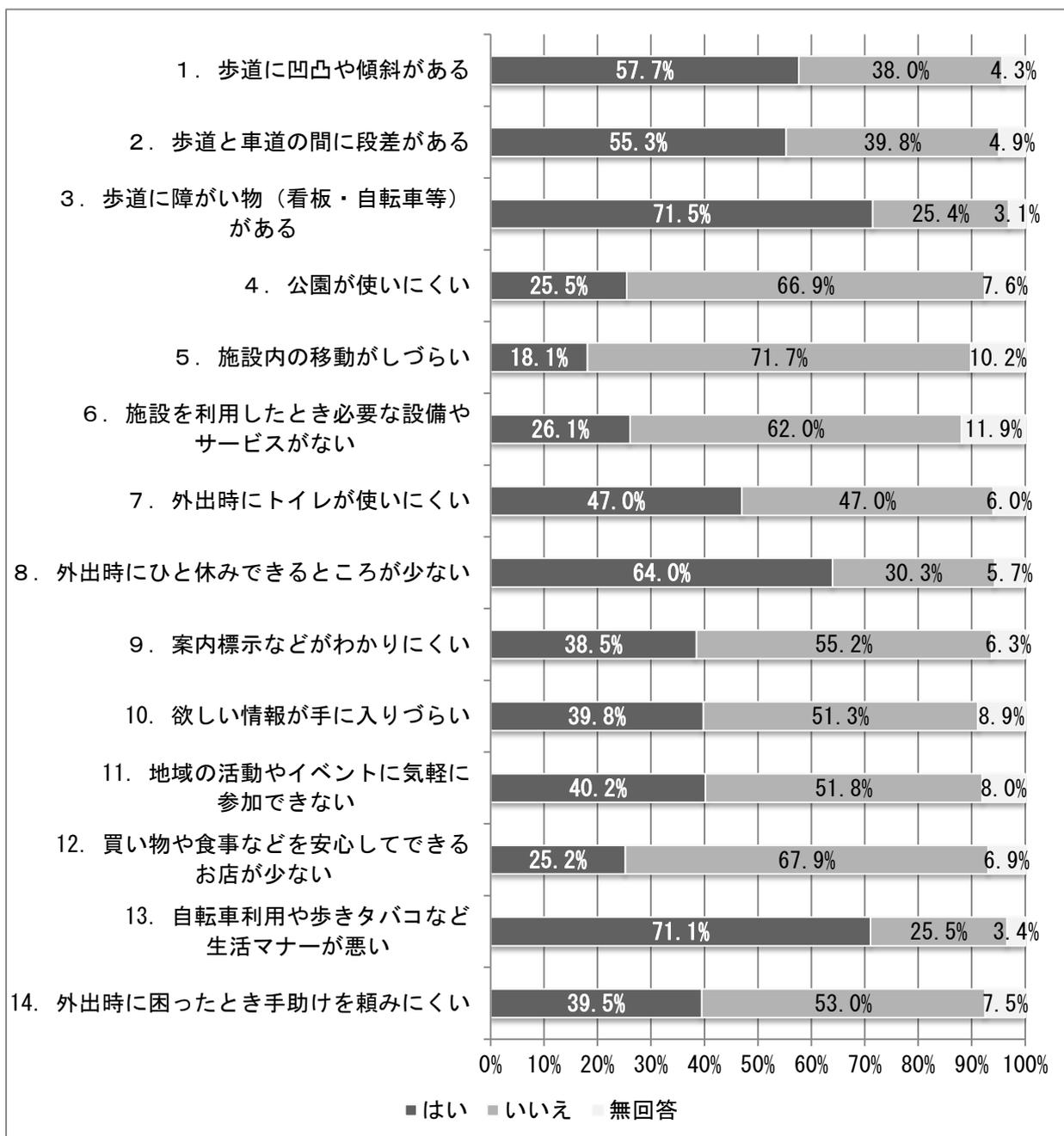
選択肢	人数	割合
1. よくなった	151	17.6%
2. どちらかと言えばよくなった	298	34.8%
3. どちらかと言えばわるくなった	39	4.5%
4. わるくなった	14	1.6%
5. わからない	313	36.4%
無回答	44	5.1%
計	859	100%



問5 あなたとご家族が、普段の生活や外出したときに、不便だといつも感じていることに「はい」、不便だとあまり感じたことがない場合は「いいえ」でお答えください。

○「3. 歩道に障がい物（看板・自転車等）がある」が71.5%と最も多く、次いで、「13. 自転車利用や歩きタバコなど生活マナーが悪い」が71.1%、「8. 外出時にひと休みできるところが少ない」が64.0%となっており、歩行環境やマナーに関連して不便と感じる回答者が多い傾向にある。

選択肢	はい	いいえ	無回答
1. 歩道に凹凸や傾斜がある	496 57.7%	326 38.0%	37 4.3%
2. 歩道と車道の間に段差がある	475 55.3%	342 39.8%	42 4.9%
3. 歩道に障がい物（看板・自転車等）がある	614 71.5%	218 25.4%	27 3.1%
4. 公園が使いにくい	219 25.5%	575 66.9%	65 7.6%
5. 施設内の移動がしづらい	155 18.1%	616 71.7%	88 10.2%
6. 施設を利用したとき必要な設備やサービスがない	224 26.1%	533 62.0%	102 11.9%
7. 外出時にトイレが使いにくい	404 47.0%	404 47.0%	51 6.0%
8. 外出時にひと休みできるところが少ない	550 64.0%	260 30.3%	49 5.7%
9. 案内標示などがわかりにくい	331 38.5%	474 55.2%	54 6.3%
10. 欲しい情報が手に入りづらい	342 39.8%	441 51.3%	76 8.9%
11. 地域の活動やイベントに気軽に参加できない	345 40.2%	445 51.8%	69 8.0%
12. 買い物や食事などを安心してできるお店が少ない	217 25.2%	583 67.9%	59 6.9%
13. 自転車利用や歩きタバコなど生活マナーが悪い	611 71.1%	219 25.5%	29 3.4%
14. 外出時に困ったとき手助けを頼みにくい	339 39.5%	456 53.0%	64 7.5%



▶ そのように感じた理由や具体的な場面があれば、お書きください。

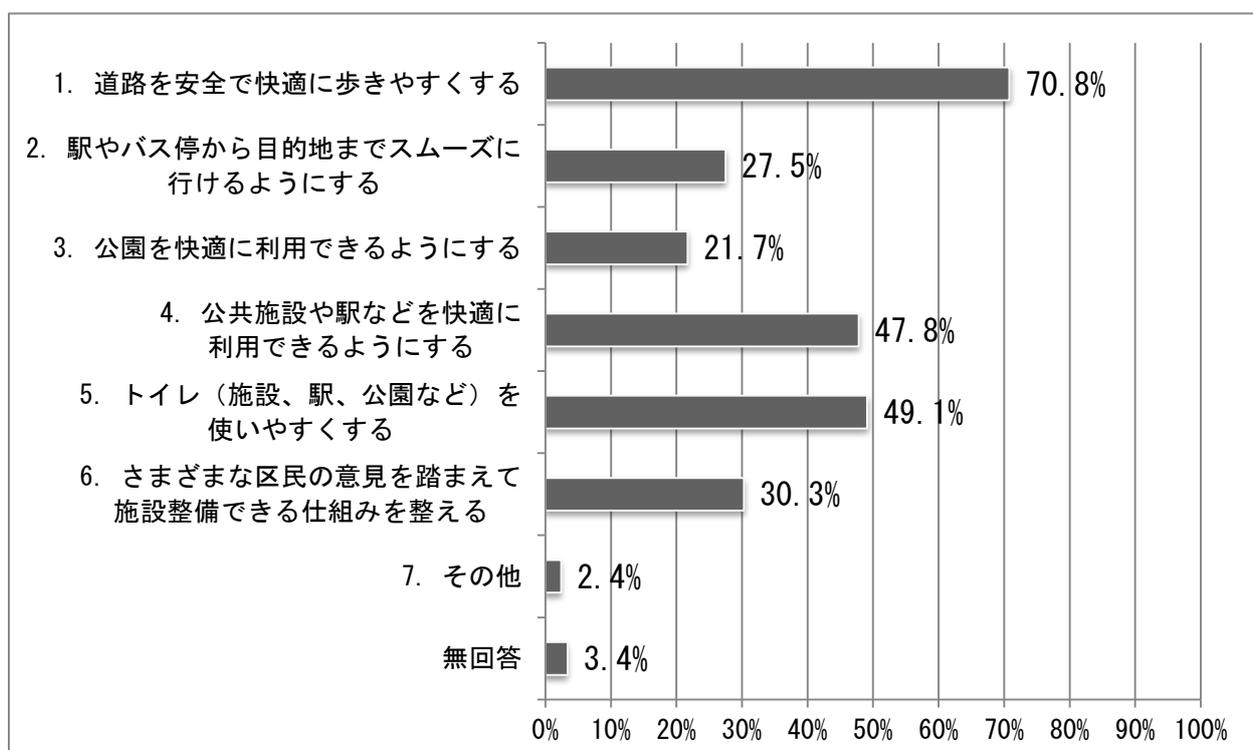
選択肢	ご意見の概要
1. 歩道に凹凸や傾斜がある	<ul style="list-style-type: none"> ○車椅子での凹凸や傾斜の移動が困難 ○凹凸で転倒しそうになる ○雨の日に水たまりができる ○雨の日は滑りやすく危険な箇所がある
2. 歩道と車道の上に段差がある	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車での移動時に段差が気にかかる ○段差で転んでしまう ○車椅子での移動時に段差が不便
3. 歩道に障がい物（看板・自転車等）がある	<ul style="list-style-type: none"> ○視力が弱いと障がい物に気づかない ○街路樹や道路標識が障がい物になる ○店頭の商品棚等が障がい物になる
4. 公園が使いにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○公園内にトイレがない ○公園内にゴミが放置されている ○公園の入り口に柵があり不便
5. 施設内の移動がしづらい	<ul style="list-style-type: none"> ○駅のエレベーターやエスカレーターが場所がわかりにくい ○駅にエレベーターやエスカレーターを設置してほしい
6. 施設を利用したとき必要な設備やサービスがない	<ul style="list-style-type: none"> ○飲食店に入りたくても、ベビーカースペースがなく、あきらめることが多い。
7. 外出時にトイレが使いにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○トイレの設備を充実してほしい ○トイレの数が少ない ○和式トイレは使いづらい ○トイレが不衛生
8. 外出時にひと休みできる場所が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ベンチが少ない ○ペットと休憩できる場所が少ない ○公共のスペースで休めるとよい
9. 案内標示などがわかりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○道路標識がわかりづらい。 ○非常時の避難経路の表示がない。 ○外国の方にはわかりにくい
10. 欲しい情報が手に入りづらい	<ul style="list-style-type: none"> ○区やイベントの情報が手に入らない ○区のホームページがわかりにくい
11. 地域の活動やイベントに気軽に参加できない	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント等に参加しづらい雰囲気を感じる ○親子で行けるイベントが少ない ○新参者にはなかなか入りづらい
12. 買い物や食事などを安心してできるお店が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ○駅や店先の喫煙スペースが迷惑 ○スーパーや店の通路が狭くてベビーカーで通りづらい。
13. 自転車利用や歩きタバコなど生活マナーが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車のスピードがすごく危険 ○買い物客の駐輪マナーが悪い ○歩きタバコは子どもの目の高さで危険
14. 外出時に困ったとき手助けを頼みにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○みんな冷たい。 ○人に声をかけにくい ○転んだ時は助けて下さる方が少ない

(2) ハード面の取り組みについて

問6 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に向けたハード面の取り組みは、以下のようなものが考えられます。今後「特に力をいれた方がよいもの」はどれですか。(〇は3つまで)

○「1. 道路を安全で快適に歩きやすくする」が70.8%と最も多く、次いで、「5. トイレ（施設、駅、公園など）を使いやすくする」が49.1%、「4. 公共施設や駅などを快適に利用できるようにする」が47.8%となっている。

選択肢	人数	割合
1. 道路を安全で快適に歩きやすくする	608	70.8%
2. 駅やバス停から目的地までスムーズに行けるようにする	236	27.5%
3. 公園を快適に利用できるようにする	186	21.7%
4. 公共施設や駅などを快適に利用できるようにする	411	47.8%
5. トイレ（施設、駅、公園など）を使いやすくする	422	49.1%
6. さまざまな区民の意見を踏まえて施設整備できる仕組みを整える	260	30.3%
7. その他	29	2.4%
無回答	29	3.4%



▶ 「7. その他」の概要

- 車道がせまく、自転車がとても危険なので、自転車道の整備して欲しい。
- 歩行者用の信号の時間を長くして欲しい。
- 自転車を停める場所の案内が分かりにくい。
- 路上駐車の自転車をなくす。
- 子どものために、公園の環境美化や防犯性の向上を進める。(ゴミ、ペットのフン、中高生のたむろ等)
- 子ども達が外遊びや、スポーツが出来る環境が欲しい。(小学校の校庭、公園、団地内敷地など、大人の事情で球技禁止はよくない)
- 高齢者が寝たきりにならないように運動したり、子どもたちと昔の遊びをしたりできるような場所が欲しい。
- 空家の対処などまちの外観に関するレベルアップ。

▶ そのように感じた理由や具体的な場面があれば、お書きください。

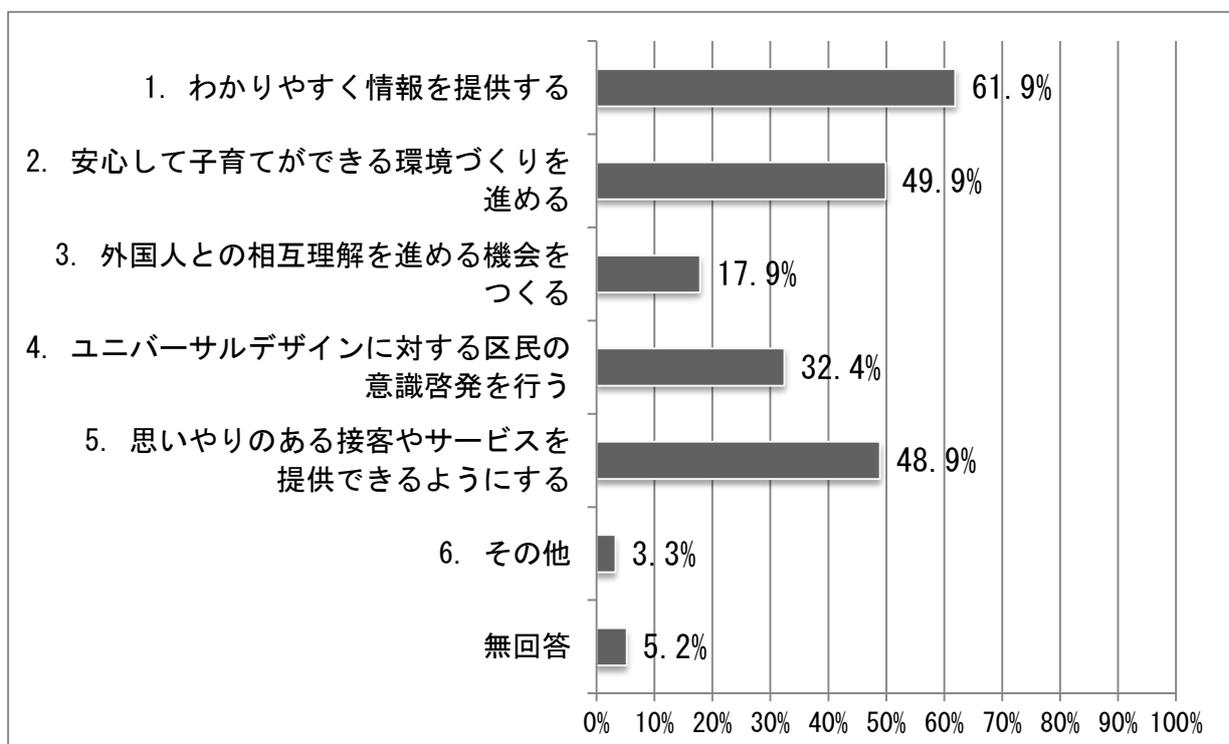
選択肢	ご意見の概要
1. 道路を安全で快適に歩きやすくする	<ul style="list-style-type: none"> ○車、自転車、歩行者の動線を区分する ○自転車の危険走行が多いので、利用マナーを改善する ○ベビーカー、車いす、高齢者の安全な歩行のために、段差や凹凸、傾斜を解消する ○店舗や商店街の路上駐輪を解消する ○看板や商品の道路へのはみ出しを抑制する ○電線類の地中化を進める ○放置自転車対策として、駐輪場の場所をわかりやすく伝える ○歩道にある視覚障がい者用誘導ブロックの位置を改善する ○雨天時にも滑りにくい構造にする ○道路の劣化補修など適切に維持管理を行う ○高齢者等に配慮して、信号の位置や歩行時間を設定する
2. 駅やバス停から目的地までスムーズに行けるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ○目的地に行けるように案内標識の内容をだれにでもわかりやすいようにする ○案内標示をわかりやすい位置に適正に配置する ○移動中に休憩できるスペースを確保する ○踏切内の歩行者通行部分に凹凸や溝が多く危険なので、安全に横断できるように改善する ○視覚障がい者用誘導ブロックを連続的に配置する ○バスの案内がわかりにくいので、乗り継ぎ方法や最短ルートの案内をわかりやすくする ○公共交通機関やモビリティの便利なネットワークをつくる（東西移動が不便、りんりん号の路線拡充）
3. 公園を快適に利用できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが思いっきり遊べる環境を提供する（乳幼児でも安全に遊べる遊具、子どもがボール遊びをできる公園運用） ○障がい者が公園を自由に利用できる環境を整える ○公園の出入口の構造（段差や柵）を車いすやベビーカーでも入りやすいようにする ○公園の利用マナーや防犯性の向上を図る（タバコ、ペット、ゴミ、たむろ、飲酒）
4. 公共施設や駅などを快適に利用できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ○エレベーターやエスカレーターを増やす ○車いすやベビーカーでも十分なスペースがあるエレベーターが必要である ○車いすやベビーカーでもスムーズに移動できる動線を計画する ○エレベーターやエスカレーターを使うと、駅構内の動線が複雑で回り道などをしなければならないので、工夫して欲しい ○駅の直近まで車で送迎できる場所を確保する
5. トイレ（施設、駅、公園など）を使いやすくする	<ul style="list-style-type: none"> ○きれいなトイレが多いことをブランド化する ○汚いトイレが多いので、きれいにする ○和式便器が使いにくいので、洋式便器を増やす ○男性用トイレにもベビーチェアなど子供用設備を整備する ○女性用トイレにも男児用の小便器があるといい ○障がい者用トイレの数や設備をさらに充実させる ○外国人でもわかるトイレの案内標示があるとよい ○トイレがどこにあるか、その場所がすぐにわかるようにしたい
6. さまざまな区民の意見を踏まえて施設整備できる仕組みを整える	<ul style="list-style-type: none"> ○施設整備の優先順位を大切にしてほしい ○施設づくりにおいて、利用者が話し合う場をつくる必要がある ○施設の利用に障がいがある方（高齢者、障がい者、子育て世代、外国人）から直接意見を聞く機会が必要である

(3) ソフト面の取り組みについて

問7 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に向けたソフト面の取り組みは、以下のようなものが考えられます。今後「特に力をいれた方がよいもの」はどれですか。(〇は3つまで)

○「1. わかりやすく情報を提供する」が61.9%と最も多く、次いで、「2. 安心して子育てができる環境づくりを進める」が49.9%、「5. 思いやりのある接客やサービスを提供できるようにする」が48.9%となっている。

選択肢	人数	割合
1. わかりやすく情報を提供する	532	61.9%
2. 安心して子育てができる環境づくりを進める	429	49.9%
3. 外国人との相互理解を進める機会をつくる	154	17.9%
4. ユニバーサルデザインに対する区民の意識啓発を行う	278	32.4%
5. 思いやりのある接客やサービスを提供できるようにする	420	48.9%
6. その他	28	3.3%
無回答	45	5.2%



▶ 「6. その他」の概要

- 高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境づくり
- 図書館などインターネットを気軽に利用できる場所を増やしてほしい
- twitter 等を利用して、情報や問合せをオープンな形で授受する受け皿が必要。
- 問合せ先のわかりやすくする、ジャンルを問わず相談できる窓口を設置する。
- 各種証明書をもっと楽に取得できないか。
- 身近にどんなユニバーサルデザインがあるのか。子供たちが体験・学習できる場があるとよい。
- 研修ばかりでなく、実際の体験者に意見を聞いて広い知識や先進事例を参考にしたい。
- 小学校1～2年生の自転車ルール指導。
- 自転車のルールの徹底と規制。
- タバコのポイ捨て、歩きタバコなど、タバコマナーが悪い。
- 外国人の日本旅行者に日本の公共の場でのマナーを教える。
- 意見交換がしやすいシステム、環境を作る。
- 企業が積極的にユニバーサルデザインの街作りに参加してほしい。
- ユニバーサルデザインに向けた取組みを高い意識で実現できるように専門家を育成する。(新しい資格、認定資格を作る等)
- 区職員がもっと区民に密着する必要がある。
- 「サービス」で終わることなく、新規の雇用の創出につなげる。

▶ そのように感じた理由や具体的な場面があれば、お書きください。

選択肢	ご意見の概要
1. わかりやすく情報を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既に行っている情報提供の取り組みをもっと知らせる ○ 駅など情報拠点の情報提供を充実させる ○ 高齢者でもわかりやすいように、カタカナ語を避け、文字の大きさを工夫する ○ 子育て世帯向け情報（赤ちゃんの駅、キッズスペースのある施設、子供と気軽に行けるレストラン等）の提供方法をさらに充実させる ○ 区のホームページをわかりやすくし、内容の充実を図る ○ メールニュースの仕組みをつくるなど、インターネットを活用した情報提供に力を入れる ○ 情報の多言語化を進める
2. 安心して子育てができる環境づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てしやすいまちというブランドをつくる ○ 子育て環境の充実を多世代の住みやすさにつなげてほしい ○ 母子家庭が孤立せず、不安にならないように、集まれる場づくりを進めて欲しい ○ 保育園を増やしてほしい ○ 未来を担う子どもたちのために、子育て世代へのサービスを充実させる
3. 外国人との相互理解を進める機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人と共存するまちというブランドをつくる ○ 外国人と地域で交流する機会をつくり、孤立させない ○ 外国の文化、教育、風習を知る機会が欲しい ○ 地域生活のマナーやルールを共有して、お互いに気持ち良く生活できるようにする（ゴミ出し、信号無視等） ○ 地域が主催する無料の英会話教室があればいい
4. ユニバーサルデザインに対する区民の意識啓発を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民意識の啓発に力を入れて欲しい ○ ユニバーサルデザインに関する情報を区が積極的に発信してほしい ○ 身近に障がい者や外国人がいない方には、特に、まずは交流などを通じて相互理解のきっかけを提供する ○ 様々な立場、多世代の交流機会を増やす ○ 何ができるかわからない人が多いので、すぐにできることは何かを伝える機会をつくる
5. 思いやりのある接客やサービスを提供できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いやりの心を育てることが先である ○ 行政の窓口サービス（接客、営業時間）を改善する ○ 区のどこに相談すればよいか、わかりやすく案内する ○ 視覚障がい、聴覚障がいの方へのサービスを充実させる ○ 研修だけでなく、認定制度（資格）のようなものがあるとよい

(4) 自由記載

問8 ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていく上で、期待することやご意見などがございましたら、自由にお書きください。(自由記載)

属性	ご意見の概要
子育て世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者だけではなく子育て世帯にも優しいまちづくりを進めてほしい ○児童館に行きにくい、児童館を利用しやすくする ○保育園や幼稚園を増やす ○区役所のトイレを改善する ○駅の設定やホームを改善する ○親子で公園を使いやすくする ○子連れで利用しやすいトイレや店舗等の環境整備を行う ○子どもが遊べる施設やイベント、ママの居場所づくりを充実させる ○ベビーカーでの移動の不便さを解消する ○子連れで安心して使える散歩道がほしい
高齢者世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して歩きやすい歩行環境づくりに力を入れる ○看板を見やすくする ○自転車の利用マナーを徹底する ○コミュニティバス等で気軽に移動できる手段を充実させる ○区の相談窓口がたくさんあり、分かりにくいので改善する ○子どもを育てやすい政策をしてほしい ○高齢者の健康づくりの取り組みに力を入れる ○ユニバーサルデザインについて知りたいが、言葉がわかりにくい
単身高齢者世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○生活のマナー向上や、思いやりの意識の向上がとても大切である ○高齢者が外に出て皆と一緒に楽しめる機会を充実してほしい ○ユニバーサルデザインについて知りたいが、言葉がわかりにくい
障がい者世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な場所に障がい者に対応する施設を増やす ○歩行環境を改善する ○バリアフリーの施設を増やす ○インターネット等の新しい情報から置いていかれることなく生活できるようにしてほしい ○近くで買物できる環境を整える ○さまざまな人意見を取り入れてまちづくりを進める仕組みを整える ○差別のないまちづくりを期待する
その他の世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設でバリアフリーを意識した設計を工夫する ○図書館の利用サービスを充実させる ○小学校をユニバーサルデザインや多世代交流の拠点として活用する ○知りたいことを調べやすい環境づくり、情報提供の充実を図る ○子どもや外国人も利用しやすい・わかりやすいサインの整備を進める ○手続き、行政サービスを気軽に利用できるようにする ○意識向上、マナー向上の取り組みに力を入れる ○ユニバーサルデザイン施策を民間企業との協力で進める ○市民が協力できることを増やし、協力できる仕組みをつくる ○若い人にも魅力的な人口増につながるまちづくりを進める ○ペットにもやさしいまちづくりを進める